

みんな

市民とあゆむ

議会の



おかや市議会だより Okaya City Assembly News

2023年（令和5年）12月25日発行

No.33/2023 Dec.

高校生が見つけた岡谷の魅力

「光と湖」みず 岡谷南高等学校写真真部二年 友野 とも 利娃 りさんの作品



特集

市民との交流！ 幅広い世代との意見交換を！

決算

令和4年度 決算審査総額370億円認定！

総額 370 億円 認定!

未来の政策や事業に
繋げる委員会審査!



議長

一般会計・特別会計は、10月30日31日。
企業会計は11月2日・6日に、行われました。

各2日間の委員会にて、財政・経営の改善状況、政策・事業の成果や課題が明らかになり、要望等将来に反映されることを期待します。

困窮された方を より救えるように

生活保護や旅行旅人の扱いについて着目した他の市の決算特別委員会も傍聴したが、より勉強せねばと感じた。



酒井和彦

就業・創業移住 支援事業について

首都圏等から岡谷市に転入し、特定企業に就職した場合の移住支援金は、もっと対象を広げていただきたい。



上田澄子

今回は財政力指数 に着目しました

財政力指数は、財政力を判断するもので、岡谷市は県下19市中5番目で、比較的財政力は良いと理解できました。



笠原征三郎

決算特別委員会 一般・特別会計

コロナ禍から福祉・ 企業への支援

まだコロナ禍の決算だが、福祉や企業への支援事業が充分に注目した。実行されつつ黒字決算は評価できる。



山崎仁

決算特別委員会 感想

コロナ禍最後の決算、市役所の皆さんの苦労があちこちに窺われた。この期間を溜めと考え、バネが弾けるような未来を目指したい。



今井浩一

初めて臨んだ 決算特別委員会

それぞれの事業に対し、予算をどのように使ったのかと質問を行うことで、事業内容の理解が深まりました。



秋山良治

健全財政と各事業 実施のバランス

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、おかや絹結プログラム、部活動の地域移行の取組みと成果。



渡辺太郎

コロナ後を見据えた 予算執行状況

市民の命と暮らしを守り、経済正常化を睨んだ活力ある岡谷市のため、各種施策の執行と課題を確認、検証出来た。



宇野香二

決算特別委員会 (一般会計・特別会計) 委員長報告



詳細はこちらから
アクセスできます

※決算特別委員会の様子は、議会の最終日に各委員長から報告されるものです。
※委員長報告全文は市議会HPに、掲載しています。

令和4年度決算一覧表	歳入(円)	歳出(円)	結果
一般会計	23,176,378,309	22,322,775,784	認定
国民健康保険事業特別会計	4,326,157,750	4,232,191,384	認定
地域開発事業特別会計	21,899,590	253,380,373	認定
分収造林事業特別会計	26,430,251	24,880,883	認定
霊園事業特別会計	101,436,899	50,905,005	認定
温泉事業特別会計	41,208,994	14,937,041	認定
後期高齢者医療事業特別会計	888,119,528	862,270,828	認定
湊財産区一般会計	12,415,814	468,339	認定

令和4年度 決算審査

決算審査では、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適正に行われたかどうか確認します。

現状・課題・対策への取り組み状況

人口減少及びコロナウイルス感染症による事業収益への影響と企業運営状況を理解することができた。



小松 壮

令和4年度決算 認定の焦点

予算執行が計画通りに進んでいるか、効果をもたらしたか、市民の利益にどれだけ貢献したのかを評価した。



土橋 学

約20億円の病院未処理欠損金理由

病院事業会計の資本的収支に約20億円もの未処理欠損金が生じた理由は塩嶺病院の固定資産除却が主因と判明。



藤森 弘

決算特別委員会 企業会計

持続可能な各種事業の取組状況

将来を見据えた取組状況、管路耐震化の進捗状況、下水道総合地震対策事業、質の高い医療体制と人材の確保・育成。



丸山 善行

人口減少や、社会環境が変化

岡谷上下水道事業と岡谷市病院事業の経営の安定化と市民福祉の向上を求めた。



花岡 健一郎

研修医受入状況と職員の心のケア

基幹型臨床研修病院に指定され、研修医の受入に繋がっている。公認心理士による職員の心のケアが図られた。



吉田 浩

公営企業経営の基本原則に着目

公営企業の本来の目的である「公共の福祉の増進」と「常に企業の経済性」の追求が図られているかを審査。



田村 みどり

コロナ禍・人口減少・少子化

予測できない物価・電気・ガソリンの高騰に柔軟に対応しています。水道料の据え置きは大きな支援です。



早出 すみ子

令和4年度決算審査 新鮮な目線での新議員の



中島 秀明

議員改選により新人議員が多くなり、新鮮な視点での質問がされましたが、もう少し切り込んだ質問があっても…と思いました。

令和4年度決算一覧表

	歳 入(円)	歳 出(円)	結果
水道事業会計	949,325,603	828,340,285	認定
下水道事業会計	1,721,538,419	1,530,938,613	認定
病院事業会計	7,325,278,886	6,914,207,237	認定

※企業会計は、収益的収支(消費税等込み)を記載

決算特別委員会 (企業会計) 委員長報告



詳細はこちらから
アクセスできます



ズバリ! 市政に問う!

令和5年
第4回定例会(10月)

ダイジェスト版

質 問	議員名	ページ
令和6年4月施行の相続登記義務化の内容は?	藤森 弘	4
岡谷シルク アーティスト・イン・レジデンス事業とは?	今井 浩一	5
早出市長の公約実現への財源確保の構想は?	田村 みどり	5
女性支援法とは?	早出 すみ子	6
「健康寿命」延伸への問題意識は?	秋山 良治	6
第5次総合計画の考え方は?	花岡健一郎	7
若者移住を促す奨学金返還支援制度は?	宇野 香二	7
今年度の小中学校のプール授業は何日行われたか?	山崎 仁	10
子育て世帯支援の給食費無償化、市長の考えは?	上田 澄子	10
「蚕糸公園」の再整備について	土橋 学	11
小・中学校における男女共同参画の考え方は?	吉田 浩	11
川岸学園構想に対する早出市長の考えは?	渡辺 太郎	12
高齢者の医療費負担軽減と市長の選挙公約	笠原征三郎	12
教育・福祉従事者の奨学金の返還補助制度を導入できないか。	酒井 和彦	13
幹線道路・生活道路における、街路樹の管理状況は?	丸山 善行	13

一般質問

●議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。

年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●質問順は、“くじ”で決めています。

▶ 岡谷市公式チャンネル

★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



藤森 弘



水素ステーションへの取り組み

Q 水素ステーション設置に関する市の方針は?

A 設置費用に3〜4億円、維持管理費用に4千万円必要となることから、現段階では対象車両(燃料電池自動車)の多い首都圏等でないかと採算が見込めない。地域のニーズ、費用対効果などを踏まえて慎重に対応する必要がある。再生可能エネルギー導入の可能性に関する調査結果を踏まえ、令和6年度に行う「第2次地球温暖化対策実行計画の見直しの際に、水素ステーションの設置についても検討したい。」

岡谷市における「区」の諸問題

Q 岡谷市における「区」の定義は?

A 地方自治法の規定に基づき条例によって設置した「地域自治区」ではないが、住民自治の強化や行政と住民との協働の推進などを目的とする住民自治組織である。

Q 令和6年4月施行の相続登記義務化の内容は?

A 相続や遺産分割で不動産を取得した場合、令和6年4月より前に相続した分も含め、3年以内に相続登記の申請をしないと10万円以下の過料の適用対象になる。

Q 各区への加入率は?

A 令和5年8月10日現在の加入率は、79・2%となっている。

Q ごみ収集・集定位置の管理責任の所在はどこか?

A 各区の衛生自治会と市が連携・協力し、協働により適正なごみ処理と維持管理に努めている。

Q 有料ごみ袋の売上金の使い道は?

A 手数料収入はごみや資源物の収集や処理に係る経費に充当しており、全体経費の約2割になっている。

Q 区の再編もしくは抜本的改革に関する考えは?

A 各区長会からは再編や抜本的改革に関する話は現時点では出ていない。区はあくまでも住民自治組織であり、区民の皆さんの意向など主体的な取り組みによるものであると考えている。



Q 岡谷シルクアーティスト・イン・レジデンス事業とは？

A 全国からアーティストを募集し、岡谷市のシルクの歴史、文化などに触れてもらい制作した作品を通して魅力発信、知名度向上、関係交流人口の創出を図るものである。



今井 浩一



Q 岡谷シルク推進事業の一環である「岡谷シルクアーティスト・イン・レジデンス」の効果や評価は？

A アーティストの皆さんの作品展示、ワークショップの開催、SNS発信などにより市民も含め多くの方に岡谷シルクを知っていただく機会になった。また完成した作品を見るために、アーティスト関係者をはじめ県外、市外からも様々な方に岡谷市に訪れていただくなど、岡谷市の認知度を高める点でも効果があった。また、令和4年度に参加した写真家・飯沼珠実氏撮影の写真が8月に文藝春秋誌に使用されたほか、11月に新宿・ニコンサロンで開催される第22回三木淳賞受賞作家新作展で展示された。さらに、神田さおり氏が制作したシルクヴェールの購入を希望された方がおり、神田氏が追加で岡谷シルクの生地を購入し、作品を制作された。事業

継続は未定。ニーズの高まりによって実施を検討。

Q 岡谷シルク以外の地域資源をテーマに実施するなどの可能性は？

A 現時点では、岡谷シルクを含め別の地域資源をテーマとした事業継続は未定。事業のさらなる研究や関係課との情報交換を進める。アーティスト・イン・レジデンス事業は民間団体が主となり、行政と連携することが重要。ニーズの高まりなどに応じて実施を検討したい。

Q 8月に、2年連続開催となった「おかやアートフェスティバルMIX2023」との連携は？

A 主催は諏訪地域でアート活動を行うNPO法人アルブランド。岡谷市及び岡谷市教育委員会では、主催者からの申請に基づき、後援という立場で、会場の提供や情報発信などの協力をした。



飯沼珠実「繭」(2022)

Q 早出市長の公約実現への財源確保の構想は？

A 私が掲げた公約の一つでも前に進めるためには、健全な財政運営と財源確保が最重要である。財源確保としては大きく二つ「歳入の確保」と「歳出の削減」である。



田村みどり



Q 岡谷市の課題の一つである人口減少問題。若者人口の流出対策はどのように考えるのか？

A 本市の人口動態を見てみると高校を卒業して、進学等を機に市外へ転出しているものと捉える。郷土を愛する心を育む教育、ふるさと帰国につながる取組に注力するほか、働く場所の確保によるUターンの促進などに取り組む。都市部から地方への移住要因として、他に先駆けた子育て支援や魅力と活力ある教育環境の構築など、若者が「戻りたい、働きたい、住み続けたい」と思える岡谷市を市民の皆さんとともに築きたい。

Q 市長の掲げる公約の優先順位は？

A 健全財政を堅持しつつ、若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを進め、人口減少の速度を抑制したいと考える。

行財政改革の取り組みについて

Q 市長の考える行政改革とは？

A 今後の行財政改革にあたっては、人口減少や財政規模に見合った行財政運営への転換が必要。また、真に必要な公共施設を確実に次世代に残していくための計画的な長寿命化と資産総量の適正化を推進していく。産業振興の取り組みについて

Q これからの産業振興の取り組みを市長はどのように考えるのか？

A 現在策定している第5次岡谷市総合計画後期基本計画や新たな工業活性化計画、商業活性化計画において、課題と取組を明らかにし、これまでの取組を一步、二歩さらにその先に進めるため、自らが先頭に立ち、全力で取り組む。



Q 女性支援法とは？

A 売春防止法から、視点を転換し、人権擁護と福祉の増進などを理念にしている。令和6年4月に施行される。



早出すみ子



Q ひとり暮らし女性の現状は？

A 女性のひとり暮らしの世帯数は4080世帯。

Q 相談件数及び内容は？

A 17件。「家計が苦しい」「債務があり、返済が滞っている」「仕事探しがうまくいかない」など金銭と就労に関する相談が多い。

Q 課題は？

A 高齢者の相談が多い。民生委員からの通報もある。若年層や単身世帯の方は相談につながらず、気づかれない状況にある。

【要望】 市役所以外での相談場所や直通電話の設置を。

Q 社会福祉課支援相談員の体制

A 女性相談員6名の配置。個々の状況に応じた援助を行っている。母子・父子自立支援員の配置やまいさば岡谷市の相談員が対応している。

【要望】 女性支援法の市においての基本計画の策定を。

加齢性難聴者への補聴器補助

Q 難聴と認知症との関連は？

A 認知症の危険因子の1つである。コミュニケーションを避けがちになる。

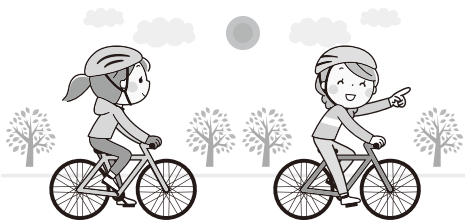
Q 加齢性難聴者の補聴器補助？

A 長野市長会総会や19市福祉事務所長会議で議題として提出。市独自では財源的に困難。国・県の動向を踏まえる。

【要望】 認知症予防対策としての取り組みを。

自転車用ヘルメット購入支援

A ヘルメットの着用への啓発活動と県の事業を参考に検討する。



Q 「健康寿命」延伸への問題意識は？

A 健やかに暮らすためには、「一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、望ましい生活習慣が大切。また、社会全体で支援体制を整えることも重要。」



秋山 良治



Q 健康寿命の延伸への取り組みは？

A 岡谷市健康増進計画の策定により、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「歯と口腔の健康」「休養・こころの健康」「たばこ・アルコール」「循環器疾患」「糖尿病」「がん」の8つの重点分野で取組んでいる。

人口について

Q 子育て支援の効果の検証は？

A 岡谷市子ども・若者育成支援計画に基づき展開。この計画は第5次岡谷市総合計画前期基本計画の重点プロジェクトに掲げる、輝く子どもの育成を基本理念とする。成果指標(KPI)の一つ「今後もこの地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合」で、計画最終年の目標100%に対し、令和4年度は93・5%だった。今後必要に応じ適正な見直しを行う。

特徴的な移住施策の取組は？

A 地域おこし協力隊1名を採用。首都圏・中京圏の20・30代をターゲットに働く場があること、都市部からのアクセスの良さ、コンパクトシティの魅力発信を強化した。

学校給食について

Q 学校給食無償化への想いは？

A 安心して子どもを産み育てられる環境を整えたい。無償化には2億700万の財源が必要、市単独では困難。

Q 給食の内容については？

A 安全で安定した給食の提供を第一に考えている。昨年から食材費の値上がり分については公費による負担を行っている。

ラオカヤについて

Q ラオカヤの今後の方針は？

A 駅周辺は大変重要な土地。まちづくりのビジョンはなるべく早く示したい。



第5次総合計画の考え方は？

A 総合計画はめざすまちの姿、方向性を示すものであり、首長が変わっても方向性は大きく変わるものではない。



花岡健一郎



Q 早出新市長は、この度の選挙戦を通じて、今井前市政を継承し、そこからまちづくりを前進させると訴えてきたが、それは、基本的に第五次岡谷市総合計画を継承していく事だと理解するが、その考えに変わりないか。

A 市議時代に審議、議決した計画であり、目指すまちづくりの方向性には変わらない。市長としてもこの計画に基づき市政運営していく。今井市政4期16年をしっかりと継承しながら、私の思いも少しずつ加えて、市民が主役のまちづくりを一步も二歩も発展させていく。

Q 市民憲章を今後も推奨していく考えは

A 市民が憲章を大切にしてきた事が、今日の岡谷市の発展につながっていることを確信している。推進協議会と連携し更なる発展に取り組む。

先人の努力をたたえ、次の世代へ着実に継承していく。

Q 各区の盆踊り行事は、区民交流の機会として重要。太鼓まつりの日程変更ができないか。

A 昭和56年から、多くの人が帰省するお盆に合わせた日程になった。各区の盆踊りなども大事なことは理解できる。日程については、主催者会議で関係者の意見を聞きながら決定していく。



若者移住を促す奨学金返還支援制度は？

A 国の奨学金返還支援には、本市で取り組んでいる育英基金奨学金制度も含まれており、更なる制度の創設には安定的な財源が必要となり、実施は考えていない。



宇野 香二



Q 岡谷市の移住施策の特徴は？

A 人口移動において20代30代の転入、転出が多いことから、20代30代をターゲットにする。

Q 移住施策に対する成果は？

A 行政サポートによる移住者は、令和2年13世帯23人、令和3年13世帯19人、令和4年は38世帯63人と効果が出ている。

Q がん対策について

Q がん予防のための検診は？

A 胃がん検診等の5つのがん検診の他にABC検診等も行っている。周知は毎年3月末に案内を全戸配布。節目検診は45歳以上、5歳刻みで75歳までお知らせを送付している。

Q 子宮頸がんワクチンの取り組みは？男性への接種の助成は？

A 接種の有効性が認められたことから、接種機会を逃した人を含めた対象者に接種勧奨通知を送付している。

男性には費用対効果が低いとされていることから、まずは女性の接種の促進に取り組んでいく。

Q AEDの設置等の周知は？

A ホームページで設置場所は周知しているが、利用可能時間はしていない。24時間使用可能な公共施設はない。

Q AEDに三角巾の配備は？

A プライバシーへの配慮、止血や患部の固定にも使えると認識しているが、今後研究していく。

Q 認知症支援について

Q 認知症基本法成立と取組は？

A 共生社会の実現を推進するための法律で、本市においても認知症の人が希望を持って生活出来るよう、認知症の各種施策の拡充を図っていく。



の交流!

を行っております。 とめました。

懇談を親身に
受け止めていただき
感謝している。



湊側の釜口橋を渡る
朝晩の渋滞は大変なものです。
水上橋は無理ですか。

9月20日開催
川岸公民館
いちい学級

日開催
ーセンター
支援学級



議会のひろば…詰め込み
すぎかなと思うので、もう少し
ゆったりとしたもので。



よかった点は、
議場などの施設を
見られたこと、
議員と直接話が
できたこと。



交流を希望される団体等を随時募集しています。

特集

市民との

幅広い世代との意見交換を 参加者からの声をまと

議員の熱心さや真剣に
取り組んでいる姿が
見られて良かった。



特に新人議員の方、
頑張ってください。
アピールも大切だと
思います。



7月7日開催
長地公民館
いちい学級

7月21
カルチャー
子育て支

人口を増やす努力、
子育てしやすい政策を
お願いします。



駅前はもとより、
もっと明るく
活気のある市になると
いいと思います。



子育てで苦労している
ことを知ってもらえたら
いいと思います。



緊張があったので、
まるくなったり、議員とママたちが
ごちゃ混ぜになって、ドリンクを飲みながら
ゆっくりやっていく方が色々と
話もできたと思います。



Q 今年度の小中学校のプール授業は何日行われたか？

A 今年度のプールの授業日数は、小学校では1校あたり平均10日、中学校では1校あたり平均13日でした。



山崎 仁



Q 岡谷北部中学校のプール授業で、学校のプールを使用せず岡谷市民プールを使用した経過は？

A 改修から30年以上経過し、水槽内のシートが劣化しプールを存続するためには、数千万円を超える整備が必要であり、加えて利用が夏季の短期間に限られるため、費用対効果の面でも課題があった。そこで移動に庁用バスを利用し、市民プールの使用に切り替えた。

Q 今後の学校のプールのあり方についての考えは？

A 学校のプールの老朽化への対応は、学校プールを廃止し、市民プール等に集約を図る全国的事例が数多く見られる。市議会総務委員会より学校プールの集約化の政策提言をいただいた経過もあり、本市も水泳の授業に支障が無いことを前提に、費用対効果の面からも学校毎のプールは持たず、市民プールに切り替え集約化し、少子人口減少社会への対応や、公共施設の総量

の適正化を図る面からも、必要な選択肢と考える。

校庭の整備

Q 学校の校庭の整備の現状は？

A 運動会などの大きな行事がある場合は、学校職員による草取り作業や、児童生徒の清掃活動に合わせた石拾い、その他、PTAや地域のボランティア、学校業務員による作業で対応。校庭は面積が広大で雑草等はすぐに繁茂するので、管理に苦勞している学校が多いのが実情。

夏休みの子どもの宿題

Q 夏休みの宿題を廃止する自治体もあるが教育委員会の考えは？

A 廃止した自治体や学校があることは報道等で承知している。これまでの宿題のあり方を見つめ直し、子どもたちが主体的に学ぶ必要性は感じている。一律の宿題をなくせば、家庭の状況によっては子どもの学びに差が出ると思われる。先進事例の成果や課題等について研究を深める。



学校プールの使用後の風景

Q 子育て世帯支援の給食費無償化、市長の考えは？

A 選挙戦を通じて人口減少対策を一番の課題とし、子どもを産み育てやすいまちを目指す訴えたが、恒久的に多額の財源を必要とする無償化実現は財源がなければ困難と考える。現在、物価高騰分は公費負担をしている。



上田 澄子



Q 全国・県内の学校給食費無償化の自治体数は？

A 8月の報道で、全国で491、県内で19町村となっている。

Q 全国的に増えている。無償化実現についての市長の考えは？

A 財源の見通しなき施策は、財政ひっ迫につながる。より慎重に対応する必要があると考える。

3歳未満児の保育料補助を

Q 未満児保育は高額で負担軽減が必要。市長の考えは？

A 国の利用者負担水準より低額に設定している。家庭で子育てしている世帯とのバランスも必要。保育環境の整備、人材確保と合わせて慎重な対応をしていく。

教育費（隠れ教育費）軽減を

Q 学校での保護者負担は？

A カバン、制服、体操服や学用品、学年費、旅行積立、部活動費等あ

るが、無償とは授業料不徴収の意味である。就学援助も行っている。

公共交通の利用改善策を

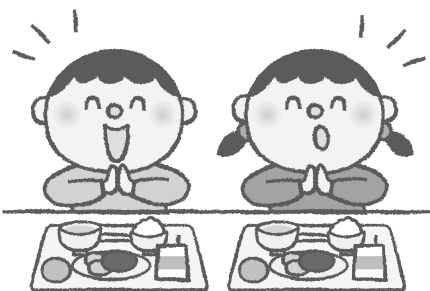
Q 利用改善の取り組みは？

A シルキーバスは人口カバー率約95%。ふくしは、障がい者や80歳以上の利用者が安価で利用されている。持続可能な交通手段の確保に努めていく。

空き家・空き地対策の拡充を

Q 放置された空き家・空き地への具体的対策は？

A 適正管理に関する条例や対策計画を策定し、実態や所有者の把握等に努めながら、近隣に影響が出ないよう努めていく。



学校給食費の無償化実現を

「蚕糸公園」の整備計画は？

A 歴史的建造物である旧岡谷市役所庁舎を活かした整備を行った。



土橋 学



Q 「蚕糸公園」の樹木の伐採理由は？

A 従前は、高木が多く樹木がうつそつとし、周辺施設の視認性が不足しており、また下諏訪辰野線、中央通りの緊急輸送路としての機能を担保した。

Q 歩道未整備の理由は？

A 一層の安全確保のため、歩道を敷地内に組み入れ芝生化を図った。

生活困窮者自立支援制度について

Q 生活困窮者自立支援制度がどのように機能しているか

A 平成24年から、社会福祉課に相談窓口を一本化し、様々な相談に対して総合的に対応している。

Q 専門的な相談や支援が必要な場合は？

A 相談窓口や関係機関を紹介し、連携を図りながら対応している。

空き家対策について

Q 岡谷市の空き家の現状は？

A 平成25年度から水道の閉栓状況などを参考に独自調査を実施している。平成25年度は550件、令和2

年度は763件、令和3度は860件であった。

Q 空き家の状態は？

A 令和4年度から令和5年度まで修繕が必要ないA判定が274件、当面危険がないB判定が688件、老朽化が著しいC判定が34件。今後空き家はさらに増加していくと考ええる。

高齢者のひとり暮らしについて

Q どのように把握しているか？

A 市の高齢化率は35・1%。3人に1人が高齢者。

Q ひとり暮らしの高齢者の数は？

A 令和5年3月31日現在2,384名がひとり暮らしの高齢者。

Q ひとり暮らしの課題は？

A 今後増大するひとり暮らしに行政だけでなく地域との連携のもと、地域全体で高齢者を支援していく必要がある。



小・中学校における男女共同参画の考え方は？

A お互いの人権を尊重し合い、性別にとらわれることなく個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の実現は、学校教育においても大切になっている。



吉田 浩



Q 男女共同参画の児童生徒に対する取り組みは？

A 各学校で男女共同参画への関心や理解が深められるよう、市が作成しているマンガ冊子の配布やポスターコンクールへの参加等を通じた周知、啓発活動のほか、各教科活動の中でも、社会科、家庭科、道徳、特別活動等の教科において、男女共同参画の視点に立った指導をしている。

特に、キャリア教育や進路指導に際しては、子どもたちの個性や多様性を尊重し、不合理な男女の区別がないように配慮しながら、子どもたちが性別にとらわれることなく、主体的に進路を選択できるように意を配しながら取り組んでいる。

Q 男女共同参画おかやプランⅥの施策内容のひとつ「性の多様性の

理解と尊重」が挙げられているが小・中学校における男女共同参画推進にあたり「性の多様性の理解と尊重」についての考え方は？

A 現代社会において「性の多様性の理解と尊重」は大切な視点である。小中学校の教育においても、性差の解消、いわゆるジェンダーレスやジェンダーフリーの視点は、今後取り入れられると伺っている。

こうした中、本年度では、市内の中学校において、男女共用のセパレート水着、いわゆる「ジェンダーレス水着」を採用した中学校があり、報道されたところである。

今後は、子どもたちの多様性を大切に、こうした学校の取り組みを尊重していきたいと考えている。



Q

川岸学園構想に対する早出市長の考えは？

A

地方が抱える公共施設のあり方や少子化が進展する社会を見据えた教育、保育環境の充実に挑戦していくものであり、市内全体の教育と子育て環境の底上げにつなげたいと考えている。



渡辺 太郎



Q 川岸学園構想の今後のスケジュールについて考えは？

A 施設整備や義務教育学校への移行準備等は、3年程度は必要であり、順調に進めば令和8年度中の開校を目指せると考える。

Q ソロ社会と少母化の現状は？

A 未婚化の進展で独身者が増加するソロ社会の進展が見込まれる。社会全体での支え合いが今まで以上に重要になると考える。市の50歳時の未婚割合は、令和2年は男性29・6%、女性は16・1%で共に増加している。少母化は、出産期相当の女性数は昭和55年の15,850人に対し令和2年は8,076人で49%減少している。

Q 育休退園の見直しの考えは？

A どのような形が望ましいのか、育休退園の緩和に向け、前向きに議

論を進めていきたい。

Q 空き地の適正管理について

A 周辺の生活環境に悪影響を及ぼす指摘もある。空き家条例同様の条例制定等が必要ではないか？

A 対策の充実を図る必要を認識している。全国では空き地全般の適正な管理に資するため、空き地条例を制定している。市の目指すべき姿勢を明確にする必要があり、条例の制定についても研究する。

Q デジタル化に伴い、防災情報を受信できなくなる防災ラジオに代わる情報伝達、情報収集手段が早急に必要ではないか？

A メール配信や公式ラインへの登録を推進している。他の自治体の取組み状況の情報収集を行い、専門の業者に聞き取りを行い調査・研究に努めている。

Q メール配信や公式ラインへの登録を推進している。他の自治体の取組み状況の情報収集を行い、専門の業者に聞き取りを行い調査・研究に努めている。

Q デジタル化に伴い、防災情報を受信できなくなる防災ラジオに代わる情報伝達、情報収集手段が早急に必要ではないか？

Q メール配信や公式ラインへの登録を推進している。他の自治体の取組み状況の情報収集を行い、専門の業者に聞き取りを行い調査・研究に努めている。



Q

高齢者の医療費負担軽減と市長の選挙公約

A

若い世代の人口の減少は進み、高齢化の進展に伴い社会保障費は膨らみ続け、医療費全体を押し上げている。高齢者を市単独で支援することは財政状況からみて難しい。



笠原征三郎



Q 高齢者の医療費軽減は子育て世代への支援策にもなっていく

A 「全世代で社会保障を支え、社会保障は全世代で支える」事が将来を見据えた安心の確保につながる。

Q 物価高騰から全世帯への支援を

A 長引く物価高から市民の生活・営業を守るには全世帯への支援を

A これまでプレミアム付き商品券を全市民対象に行った。また、低所得者を対象に各種給付金事業を行なってきた。今後についても、社会経済情勢が市民生活に与える影響をみて、適時適切な施策を図っていく。

Q 今後の支援策としてどのようなことを考えているか。

A 岡谷市としては、国や県の動向に注視しながら、効果的な支援策を検討していく。

蚕糸公園の改修と無くなった歩道

Q 今回の改修からの教訓として、パブリックコメントの必要性は。

A 市民の皆さんの声を反映することが大切。事業推進に当たっては適切に対応していく。

Q 蚕糸公園に接していた歩道が無くなって非常に危険になっている。

A 中央道り線の歩道については、その機能を公園内に組み入れてある。

Q 歩行弱者にとっては斜めになった芝生の上はとても歩きにくい。

A 3か所の交差点から、公園中央部へ通ずる園路を整備してある。



Q

教育・福祉職従事者の奨学金の返還補助制度を導入できないか。

A 市が貸与した奨学金の償還免除制度はあるが、その他の奨学金についての支援制度については考えていない。医療・保育・介護施設の雇用確保には根本的な対策が必要。



酒井 和彦



Q 奨学金返還補助は抜本的な対策にならないか？

A 国においても処遇や働き方を改善することで雇用を確保する方向で動いており、多くの方がその職業に就きたくなくなるよう考えている。

憲法と日米地位協定

Q 市長は市議会議員であった4年前に日米地位協定の抜本的な見直しを求める陳情者に対して、現在の憲法9条がある以上現在の日米地位協定は必要であり、抜本的な見直しは困難という趣旨の発言をしたが、現在も考えは同一か。

A 日米地位協定の見直しに反対したのではなく、見直しのためには、もっと大きな枠組みの中で議論が必要ではないかとの主旨の発言をしたが、議員当時も現在も変わるものではない。

新型コロナウイルス対応

Q 市職員の休職・退職状況は？

A 前回答弁以降、新型コロナウイルス感染症やその後遺症により休職や退職に至った職員はない。

Q 同感染症によって生活に困窮している市民からの相談は？

A そついった原因による相談はない。

Q 8月には医療警報も発出されたが、市民病院において患者受け入れは充分にできたか？また、今後の対応については？

A 患者受け入れにおいて特にひっばくしたということはない。今後の感染者数がどう推移するかは不透明だが、いかなる状況にあっても積極的に対応するということが岡谷市民病院の使命・役割であり、これまでと変わらない。



Q

幹線道路・生活道路における、街路樹の管理状況は？

A 職員による定期的見回りと、月3回、5班体制で実施している道路パトロールにて、状況確認を行っている。



丸山 善行



Q 市民や区からの要望や問合せ件数は？

A 多くが区からの土木陳情。地域の方々からも、植樹帯の雑草の繁茂や病害虫の発生などの苦情・要望が年数件あり、適宜、適切に対応している。

Q 街路樹を伐採する際、地域住民への事前周知や理解を得るための取り組みは？

A 作業に着手する前に閲覧板による周知を行うほか、沿線にお住まいの方々を1軒ずつ訪問し、お話をさせていただいている。

Q 地域の方の街路樹への意見は？

A 岡谷駅南地区のユリノキ伐採には、高木を伐採し低木のみとしたい意見が約5割、高木を中低木へ転換するのがよいが約4割、現状のままでよいが約1割の状況。

Q 管理する街路樹の課題は？

A 街路樹の巨木化による、運転手や歩行者の見通しの妨げ、根上

りによる安全な歩行の支障、自然災害による倒木の影響も懸念。

Q 今後の管理の考えは？

A 都市美観の向上や、歩行者に対する安全確保を考慮しながら、人口減少や高齢化が進行する将来を見据え、手がからず、路線の特色となるように樹種選定していく必要がある。

中でも高木の街路樹は老木化に伴う課題もあり、維持管理が難しい面がある。地元区や近隣住民の方と協議を重ね、伐採もしくは維持管理が容易な、中低木への樹種転換を図りたい。

Q 樹種転換の計画は？

A 巨木化した高木の整理を中心に伐採している。樹種転換だけを目的にした計画はなく、道路改修や、補修に合わせて実施予定。



令和5年 第4回定例会

主な議案の審査
審議結果

令和5年10月13日（金）から11月10日（金）までの29日間の会期で開かれ、報告案件10件、議案22件が審査されました。主な審査・審議結果は次のとおりです。

◆議案第66号

岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

本会議での提案説明（議案の内容）

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の公布、施行に伴い、「電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律」が改正され、マイナンバーカード所持者について、電子証明書をスマートフォン（移動端末設備）に搭載することが可能となった。



スマートフォン内蔵型の電子証明書が新たに定義、規定されたため、現行のマイナンバーカードを利用した印鑑登録証明書の交付に

加え、新たに電子証明書が搭載されたスマートフォンを利用した印鑑登録証明書の交付が可能となることにより改正を行うもの。

※本会議での説明の後、社会委員会に審査付託されました。

◆社会委員会での主な討論

マイナ保険証の保有を強制しているマイナンバー制度自体に反対であり、条例の改正により、マイナンバーカードを所有している人だけの特典となることから、本議案には反対する。

一方、今回の条例改正はマイナンバーカードの利便性の抜本的向上を図るため、電子証明書をスマートフォンに搭載することが可能となったことに伴い、マイナンバーカードだけでなく、スマートフォンでもコンビニエンスストア等で印鑑登録証明書の取得が可能となるなど、市民生活への利便性が向上することから、より丁寧な周知を要望し本議案には賛成する。

※質疑の後、討論・採決が行われ、委員会で賛成多数により可決されました。

本会議において議案の審議

※採決により本議案は、賛成多数により可決されました。

◆議案第69号

令和5年度岡谷市一般会計補正予算（第9号）

本会議での提案説明（議案の内容）

今回の補正予算は、映画の一部が市内で撮影された「ゴジラー1.0」が11月3日より公開される機会に、映画とタイアップしたイベントや展示等を行い、市内への誘客を図るために必要な委託料等を計上するもので、総額340万円を追加する。

※本会議での説明の後、総務委員会、産業建設委員会に審査付託されました。

◆産業建設委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

Q 委託料の内訳は？

A ロケ地タイアップ施策業務委託料として、特設WEBサイトの制作143万円、スタンプリーの台紙作成33万円、ポスター・チラシの作成44万円、まち歩きマップ作成に85万円を計上し、旧庁舎の警備委託料として35万円を計上した。



Q まち歩きによる店舗への周遊は？

A 観光協会の会員を中心に、映画とタイアップしたまち歩きを行う。ゴジラ盛りなどの食事のタイアップ商品など検討されており、多くの方が、市内を周遊できるようにしたい。

※質疑の後、討論採決が行われ、それぞれの委員会で原案のとおり可決されました。

再び本会議において議案の審議

※審議の結果全会一致で可決されました。

○令和5年第4回定例会(全会一致により可決された議案等)

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第18号	専決処分の承認を求めることについて(岡谷市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例)	議案第62号	令和4年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出 決算認定について
報告第19号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第63号	令和4年度岡谷市水道事業会計の決算認定について
報告第20号	専決処分の報告について(令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第4号))	議案第64号	令和4年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について
報告第21号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第65号	令和4年度岡谷市病院事業会計の決算認定について
報告第22号	専決処分の報告について(令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第5号))	議案第67号	岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
報告第23号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第6号))	議案第68号	市道路線の認定について
報告第24号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第69号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第9号)
報告第25号	専決処分の報告について(令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第7号))	議案第70号	令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第10号)
報告第26号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第71号	令和5年度岡谷市病院事業会計補正予算(第1号)
報告第27号	専決処分の報告について(令和5年度岡谷市一般会計補正予算(第8号))	議案第72号	岡谷市教育委員会委員の選任について
議案第57号	令和4年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第73号	主要地方道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書
議案第58号	令和4年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第74号	新型コロナウイルスワクチン接種後の情報提供とフォロー体制を求める意見書
議案第59号	令和4年度岡谷市霊園事業特別会計歳入歳出 決算認定について	議案第75号	トリガー条項の凍結解除など燃料油価格の高騰への対処を求める意見書
議案第60号	令和4年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出 決算認定について		

○令和5年 第4回定例会(賛否が分かれた議案等一覧)

議案番号	件名	今井康善	秋山良治	土橋学	花岡健一郎	山崎仁	小松壮弘	藤森弘	宇野香二	田村みどり	酒井和彦	上田澄子	早出すみ子	今井浩一	渡辺太郎	吉田浩	中島秀明	菅原征三郎	丸山善行
議案第55号	令和4年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○
議案第56号	令和4年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○
議案第61号	令和4年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○
議案第66号	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○
議案第76号	現行の健康保険証廃止の延期を求める意見書	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×

○令和5年 第4回定例会(陳情の審査結果)

陳情番号	件名	付議委員会	審査結果
陳情第6号	主要地方道下諏訪辰野線拡幅改良事業に対する要望書	(産業建設委員会)	採択
陳情第7号	岡谷市内危険箇所改修についての要望書	(産業建設委員会)	趣旨採択
陳情第8号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情	(総務委員会)	採択

予 告 議会報告会を開催いたします。

議員改選後のはじめての議会報告会です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時

令和6年1月23日(火) 午後7時から

場 所

イルフプラザカルチャーセンター(多目的ホール)

インターネット(Webex)を使った配信も行いますので、ご希望される方は開始時刻になりましたら下記の二次元バーコードからご参加ください。(Webex Meetingsが必要です。)



ミーティング番号(アクセスコード): 2513 673 7749

ミーティングパスワード: 20240123

※今回は画像と音声のみの配信となりますのでご了承ください。

ご意見・ご要望

議会だよりについて、ご意見・ご要望がございましたら、下記までお寄せください。

連絡先

岡谷市議会事務局
TEL23-4811(内線1711)
FAX22-6213

メール

gikai@city.okaya.lg.jp

師走を迎えました。新しいメンバーで議会が始まり、8か月が過ぎようとしています。議員それぞれのカラーで新風を起こしています。「議会のひろば」も表と裏を一新し、また、広い世代に登場していただけるように企画し、毎号「特集」を掲載しています。カラー写真であなただけ知っている人がいるのかも。あなたも登場してみませんか? よく、顔写真について意見が出ます。自分のお気に入りの写真がなかなか見つかりません。どんなかなとできあがってくるのをワクワクしながら、編集会議に参加しています。読みやすい、わかりやすい、見やすい、楽しいをお届けできるように7人の委員でがんばります。みなさん、よいお年をお迎えください。

早出すみ子

編集後記

岡谷市
今昔物語

故きを温ねて新しきを知る

みんなと歩んだ100年

古い写真を見ると、かつての駅前の方が交通導線が集中する市内交通網最大の要衝であったことをより伝えてくれます。風情のある洋風建築が往時の雰囲気醸し出していますね。



昭和50年代の岡谷駅前

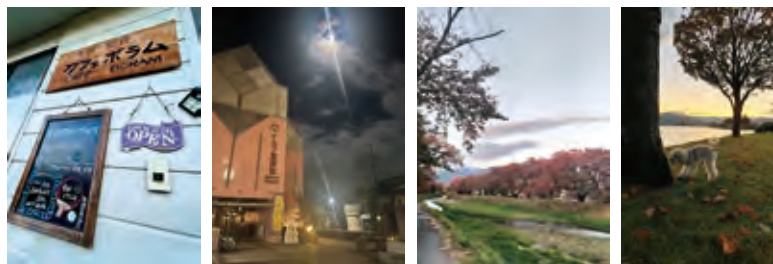


再開発が行われた頃の岡谷駅前

高校生が見つけた岡谷の魅力

高校生にも議会に興味を持っていただきたいという思いも込めて、「高校生が見つけた岡谷の魅力」をテーマに、議会広報誌の表紙の写真撮っていただくことにしました。第一回は岡谷南高校写真部の担当です。9人の部員をまとめる2年生の部長・小針雛さんによれば「議会からお話があつたときはびっくりしました。部活では写真の撮り方には個性が出るし、それぞれのテーマもあるので、自由な活動をモットーにしています」とのこと。広

報広聴委員会のメンバーで選んだのは1年生の友野利娃さんの『光と湖』。「絶対に諏訪湖の風景を撮ろうと思っていた。私は諏訪市から自転車で登校しているのですが、諏訪から見る諏訪湖は道路や車に遮られるのに対し、岡谷側は湖が主役に見えます。この写真は10月に入ってきた



岡谷南高校写真部の皆さんの作品

くらの朝、釜口水門の橋の上から見た空と諏訪湖がきれいだったのでスマホで撮りました。私は被写体を真ん中に置いて撮るのが好きなのですが、この写真は、水平線が真ん中に、真つ直ぐに写るよう意識しました」と友野さん。「写真で絶対に残したいと思う今を撮るのが好き」とのこと、岡谷の今をフレッシュな視点で追いかけてください。



写真部部長の小針さん(右)と部員の友野さん(左)

議会広報広聴委員会

- 委員長: 小松 壮
- 副委員長: 早出 すみ子
- 委員: 宇野 香二
- 今井 浩一・渡辺 太郎
- 吉田 浩・山崎 仁